

# D-1:ポスタワード

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 9:00-10:30 B101(1階)

## ポスタワードが生み出すものとは ～伴走型支援と研究力・産学連携強化～

一般的に大型プロジェクトでは、研究者、研究支援専門人材、関連組織職員等が一体となってポスタワード業務に取り組んでいると考えられます。その中でも、研究代表者の最も近くで全体のポスタワード業務を中心となって支える現場の実務家・プロフェッショナルが存在します。

本セッションにおける「大型プロジェクト」とは、プロジェクト参画機関が複数存在し、研究体制が大規模であるものを指します。このようなプロジェクトでは各機関の異なる専門性や視点の掛け合わせが様々に行われるために、画期的な成果が出る可能性が高いプロジェクト又は客観的に大きな成果が期待されています。参画機関数や予算額に伴い、マネジメントもより複雑になっていくことから、専門人材の活躍どころが特に多いと考えられます。

ポスタワード業務は、プロジェクトの運営、進捗管理、予算管理、評価対応、成果の活用、研究のさらなる発展に向けた新プロジェクトの企画、など多岐にわたります。これらの業務を通して研究代表者を補佐し、時には運営の意思決定に直接携わるケースもあります。本セッションでは、大型プロジェクトのマネジメントのプロフェッショナルの方から事例紹介をしていただき、日頃どのように業務を進めているのかなどリアルな日常を含め、会場の皆様と共有します。セッション後半ではぜひ活発な議論を展開したく、積極的に会場の皆様にもご意見・ご質問を頂戴できればと考えております。

## オーガナイザー

諏訪桃子:首都大学東京 研究推進課 主幹URA

食品素材メーカー勤務を経て、2009年から国立大、TLOで技術移転、外部資金獲得支援をはじめとする産学連携業務全般に従事してきた。2017年より現職。

## 講演者

### 稲穂健市: 東北大学 研究推進・支援機構URAセンター 特任准教授(上席URA)

弁理士、米国公認会計士(デラウェア州Certificate)。大手電気機器メーカーの知的財産部門、米国研究開発拠点などを経て、2014年より現職。米国時代は拠点のプロジェクト管理や契約業務に関わった。現在は主にセンター・オブ・イノベーション(COI)東北拠点の戦略統括としてポストアワードに取り組む。『楽しく学べる「知財」入門』(講談社現代新書)など知財啓発に係る著作多数。科学技術ジャーナリストとしての筆名は稲森謙太郎。

### 香月亜美: 京都大学 産官学連携本部知的財産部門 戦略企画G 主任専門職・RTTP

実用化推進や知的財産の視点でマネジメントに取り組んでいる。2004年 京都大学 産官学連携本部に着任。2005-2010年 研究プロジェクトマネジメント業務、2011-2013年 研究室に出向、2014-現在 知的財産・ライセンス業務に従事。